

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

【今月のおススメ】

【千代田分館所蔵】

みんな生きている

中川ひろたか / 文

きくちちき / 絵

星カフェ「わたしは、わたし」

と思えたら

倉橋 燿子 / 作 たま / 絵

6月 図書館カレンダー

2025 年 June						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月21日は、四季をさらに6つに分けた二十四節気^{にじゅうしせつき}で「小満^{しょうまん}」にあたり、陽の光の強まりとともに万物が成長し、満ち始める時期とされます。子どもの人格を重んじ、幸福をはかる「こどもの日」もある今日は、生きることや自分という存在へのまなざしがテーマの児童文学を紹介します。

みんな生きている

小学1年生で習う漢字80字を使って紡がれた言葉と、柔らかな色彩で鮮やかに描かれる情景に生命の萌芽^{ほうが}を感じる絵本です。青い空に輝く太陽や草木の匂い、いきいきとした動物たちや学校での生活など、私たちが最初に学ぶ漢字には、自然の豊かさや暮らしの基本が込められています。漢字を習い始めたお子さんはもちろん、大人にもおすすめの一冊です。



小学館

【千代田分館所蔵】

■休館日：月曜日、図書整理日

○お話し会：工作「作って遊ぼう」
6月14日 土曜日 午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

星カフェ「わたしは、わたし」と思えたら

内気で人と話すのが苦手な中学1年生の湖々(ココ)は、明るくスポーツ万能で、日々スケートボードに打ち込む双子の姉・流々(ルル)を自慢に思いつつも、自分と比べて、つい落ち込んでしまいます。夢中になれるものもなく、料理の腕を褒められても「わたしなんて」と謙遜してばかり…。自信のない湖々が恋や友情をとおして成長していく姿を描く、星カフェシリーズの第1弾です。



講談社

【千代田分館所蔵】

図書館ボランティアのご案内

- 毎月第2土曜日に「石のスープの会」によるお話し会を開催しています。
- 「つくしんぼの会」は、児童クラブ・保育所などへ読み聞かせを行っています。
- 図書整理「ひばりの会」、本を通して交流を深める「読書会」が活発に活動しています。

文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会	ゆつたりと雲の流れで臘月	臘月木々のすきまに見えかくれ	童心に返る駄菓子屋花ふぶき	花爛漫横一列の六地藏	臘月見上げてごらんスマホの子	大薨つづく街道春の月	紫陽花俳句会	懐かしや母の味する浅蜷汁	石南花や庭の王者に相応しき	うす紅の孫のほつた花みずき	かりんとう頬張り眺む五月鯉	出島短歌会	できるだけ健やかであれ宝くじ買う妹の声は明るし	水張田を五月の風が撫でゆきて映れる木々をそと消しゆく	ふと見れば鏡の母の懐しきわが影ながら形見と思えば	深々と礼して妻は送り出す老々介護のデイのお迎え	投稿作品	吹く風にいつしかつばめも里帰りせつせと古巣をリフォームせし	ロブウェイ女体山頂霧の内牛久大仏もやっと思ゆる	目覚むれば雨上がりの空澄み渡りみつる桜に煌々と月	亡き後の半世紀重み染み染みと感動多き道しるべなり	夕光に仄かに香る沈丁花つかのま狭庭に彩りそえる	差し入れの筍御飯味噌し季節先取り明日も頑張り	子らの頬のようにまるきいちごかな	そよそよとやさしく受粉の梨の花	アイス食べ当座の暑熱順化する	前撮りのネモフィラの丘風薫る	靄空を待つて七分の花見かな	磯遊び時を忘れて波かぶる	細野健司	兼西清治	竹村啓子	中村耕二	釈一浄	石井彩音	矢口哲雄	沽野はつ子	飯島すみ子	中島良平	関和代	岡田よう子	岡田恭子	仲谷香代子	名倉親子	薬師寺玲子	藤本菅生	原田佳世子	島田和子	久保庭悦子	飯沼礼子	萩原初枝	中島暉子	鈴木けいこ	桜井筑蛙
----------	--------------	----------------	---------------	------------	----------------	------------	--------	--------------	---------------	---------------	---------------	-------	-------------------------	----------------------------	--------------------------	-------------------------	------	-------------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	------------------------	------------------	-----------------	----------------	----------------	---------------	--------------	------	------	------	------	-----	------	------	-------	-------	------	-----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------

WEBで投稿
できます



投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。6月4日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。



西蔵院地藏堂 について

加茂地区には西蔵院地藏堂があり、安産子育てにご利益のあるお地藏さまとして知られています。西蔵院地藏堂の由来を記した昭和2年(1927)の資料が、地元に伝わっています。この資料には、「康平五年(1062)源義家東征ノ砌^{みぎ}豪族加茂孫四郎ノ家ニ泊リ偶々孫四郎ノ妻難産ニ際会ス 従者中ニ安産子育子安地藏尊ノ画像ヲ所持スル者アリ 之レヲ安置スルニ忽チ安産ス 依テ之レヲ乞フテ祈願寺西蔵院ニ安置ストアリ(中略)遠近ヨリ参詣者絶ヘザルヲ為メ正徳二年(1712)六月廿四日(中略)西蔵院境内ニ仏堂ヲ建テ之レヲ安置シ年々護摩修行シ来リタルモノナリ」と記されています。「加茂孫四郎」は小田氏八代の小田孝朝〔1337-1414〕の子で、加茂に居を構えた人物です。この人物が登場し、その祈願寺が西蔵院であったという記述は大変興味深いものです。



▲写真：西蔵院地藏堂と松葉薫さん(左)、松澤光一さん(右)

地藏堂内部には美しい彩色の木造地藏菩薩立像が安置されており、柔らかな表情を浮かべています。台座には明治38年(1905)と昭和49年(1974)に修理が行われたことが記されており、非常に大切にされてきた尊像であるということが分かります。また、お地藏さまが安置される厨子には、正徳2年銘の棟札が残されており、こちらも貴重な歴史遺産となっています。

西蔵院地藏堂では現在でも護摩供養が続けられており、近郷近在の方々の信仰を集めています。優しい表情のお地藏さまは、今日も子供たちの健やかな成長を見守ってくれているのです。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



◀正徳2年銘の棟札

人生の 先輩

健康の秘訣をお聞きしました

何でも楽しむ

いろいろなことを

「見る」「聞く」「やってみる」
体力づくりを兼ねて、グランドゴルフやスポーツ吹矢で体を動かしています。

また、昨年は老人大学にも参加しました。そこで毎回「1つだけ覚えて帰る」ことを目標にしています。

声で元気を届ける

霞ヶ浦コミュニティセンター内の図書館で、グループで読み聞か

せをしています。始めた当初は、「おばあちゃんになっても続けられたらいいね」と話していたお話し会も今年で32年。元気に声を届けています。

前向きな考えが幸せの根源

人生に苦労はつきもの。その苦労をステップにして、何でも楽しみ挑戦することで、心も体も健康で若くいられます。

歳のせいにしてやりたいことを諦めない。考え方ひとつで毎日楽しく過ごせます。私は「生まれた時からずっと幸せ」です。



たかの ふみえ
高野 文江さん

大和田地区在住(73歳)

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



☎ 情報広報課(霞ヶ浦庁舎)
☎ 029-897-1111

▲詳細